

平成 15 年 10 月 31 日

各 位

会社名 宇部興産株式会社
代表者名 取締役会長兼社長 常見和正
(コード番号 4208 東証第1部)
問合せ先 IR広報部長 泉原雅人
(TEL 03-5419-6110)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 15 年 5 月 16 日に公表しました平成 15 年 9 月中間期 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 9 月 30 日) の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成 15 年 9 月中間期連結業績予想数値の修正 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 9 月 30 日)

(単位: 億円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 15 年 5 月 16 日発表)	2,500	70	10	0
今回修正予想(B)	2,420	50	15	5
増減額(B - A)	80	20	5	5
増減率	3.2	28.6	50.0	-
前期(平成 14 年 9 月中間期)実績	2,426	53	14	26

2. 平成 15 年 9 月中間期単独業績予想数値の修正 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 9 月 30 日)

(単位: 億円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 15 年 5 月 16 日発表)	1,120	40	10	0
今回修正予想(B)	1,081	40	23	7
増減額(B - A)	39	0	13	7
増減率	3.5	-	130.0	-
前期(平成 14 年 9 月中間期)実績	1,082	32	13	10

3. 修正の理由

(1) 連結

- ・売上高につきましては、機械製品の売上が一部 10 月以降にずれ込んだこと、並びに生コン関係の売上が低迷したこと等により、80 億円の減収となる見込です。
- ・営業利益につきましては、北米アルミホイール事業でのモデル変更に伴うコスト増やカナダドル高による米国向け輸出採算の悪化、あるいはカプロラクタムの原料高等の影響により、20 億円の減益となる見込です。
- ・経常利益につきましては、上記カナダドル高に加えタイパーツ高によりドル建債務の換算差益が生じたこと、並びに支払利息減等金融収支が改善したこと等により、営業減益を補い、5 億円の増益となる見込です。これに伴い当期純利益につきましても 5 億円の増益となる見込です。

(2) 単独

- ・売上高につきましては、石炭の売上が一部 10 月以降にずれ込んだこと、並びに医薬中間体の売上が計画に対し未達であったこと等により、39 億円の減収となる見込です。
- ・営業利益につきましては、電池材料や合成ゴムの利益増等により減収の影響がカバーされる見込のため、前回の予想値に変更はありません。
- ・経常利益につきましては、支払利息減等金融収支が改善したこと等により、13 億円の増益となる見込で、これに伴い当期純利益につきましても 7 億円の増益となる見込です。

なお、通期の業績予想につきましては、カプロラクタムの販売価格が下期以降急速に上昇しているといったプラス要因がある一方、米国アルミホイール工場 11 月から労働協約改訂をめぐるストライキが発生する可能性が高いといったマイナス要因もあり、これらの影響を見極めるため、11 月 18 日に予定しております中間決算発表時に改めて発表いたします。

以上